

事項一四 中国内政關係雜件

附 滿洲地方動靜

一三四八 五月二十五日

東在中國日本公使館附陸軍武官ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

北京政府对安福俱樂部ノ關係ニ付報告ノ件

(五月二十七日外務省接受)

支極秘第二〇一号

北方对安福俱樂部ノ關係ハ既ニ御承知ノコトナルヘキカ先般外交失敗問題ニ就テ錢總理以下内閣ヲ投ケ出サントセシ時安福一派カ之ヲ阻止スルニ決シテ漸ク居据リトナリタル以來該派ノ勢力ハ一層加ハリ来リシモノノ如シ去ル二十一日其ノ首領王揖唐カ急ニ勲二位ニ進メラレタルカ如キハ確カニ其ノ間ノ消息ヲ窺フコトヲ得ヘク又連日妄言惡罵殆ント日支ノ国交ヲ危クスル迄ニ惡筆ヲ揮ヒ乍ラ何等ノ制裁ヲモ受ケサリシ北京益世報カ昨日急ニ発行停止トナリシ原因ヲ探究スルニ其ノ前日安福派ヲ目シテ參戰借款ノ一部ヲ着服シタル売国奴ナリ權謀術策ヲ利用シテ私腹ヲ肥シ愛國運

特命全權公使 小幡西吉(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

段祺瑞ノ対時局意見ニ就テハ兩次電報ノ次第モ有之候処段ハ五月廿四日附各督軍省長ニ対シ左ノ如キ意見ヲ表示致居候

歐洲會議ニ対スル当局最後ノ主張ハ已ニ電報ノ通りニテ顧、王ノ両委員カ青島ノ直接還附ヲ争執シタルハ国力サヘアラハ是ナラザルニ非ザルモ日英カ青島ニ戰フノ時ハ我国カ中立タリシコトハ知ラサルヘカラス日英現在ノ国力ヲ我ハ一筆ニ抹殺セントスルモ得ヘキカ乃チ此問題ノ為メニ一般ノ青年学生カ人ニ利用セラレ同盟罷校シテ青島ヲ争ヒ法網ヲ踏ミ国交ヲ犯シテ顧ミス風声一時之ヲ愛國ト云フモ噫我国ニ如此多数ノ人民愛護シテ国竟ニ強カラサルハ中ニ必ス故アリ瑞曾テ記ス外蒙問題政府ノ磋商四閱月ニシテ国家ノ為メニ領土ヲ完全ニセリ瑞時ニ代理總理トシテ国会ニ到ル十三回利害ヲ詳述シ並ニ告クルニ蒙古ノ局勢將ニ変スルヲ以テスルモ竟ニ通過セス後訂ノ約前ニ視レハ如何亦黙シテ息ム対独塊宣戰タル抗議絶交ハ則チ国会之ヲ承認シ宣戰ハ則チ通過セス瑞ハ關係国家

動者ヲ罪シテ教育總長等ノ椅子ヲ奪ハントスル強盜ノ巢窟ナリト罵倒セシ論評カ同一派ノ惡感ヲ買ヒ遂ニ政府ヲシテ言論圧迫ノ断行ヲ余儀ナクセシ為ニ非サルカト思ハルル節アリ又以テ政府对安福派ノ關係ヲ知ル一助トナルヘシト信ス然レトモ安福派ハ此ノ際進テ内閣ヲ組織シ難局ニ当ラントスル野心ナク飽ク迄モ錢内閣ヲ支持シ之ヲシテ外交失敗其ノ他善惡共ニ責任ヲ負担セシメントスル魂胆ナルカ如シ右御參考迄

上海済

一三四九 五月二十八日

在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

段祺瑞各督軍省長ニ対シ中国外交ニ関スル意

見表示ノ件

公第二〇九号

(六月三日接受)

大正八年五月廿八日

在支那

存亡ニ在リ責任ノ在ル所力争シテ休マズ遂ニ運動シテ罷職セラレ憲法草案中ニ總理ノ免職ニ副署ヲ要セサルノ一条ヲ添フ瑞カ個人ニ対スルハ姑ク論セサルモ天下万国此ノ如キ法律有ル乎遂ニ復辟ヲ引起シ以テ民国ヲ亡ス愛國ト禍國トハ当ニ能ク之ヲ弁セン一般ノ学生カ愛國心アルハ誠ニ喜フヘク嘉スヘキモ瑞ハ更ニ一言ヲ進セン当ニ尽心拳学成我ヲ養ヒ将来ノ政治ヲ鼎新シ工商実業ヲ治メ以テ国本ヲ強フスヘク則チ人ノ愚弄ヲ受ケ徒ラニ囂張ノ氣ヲ長シ己ヲ誤リ国ヲ誤ラハ則チ不可ナリ歐約若シ調印セサレハ國際聯盟ニハ加入スル能ハス得ル所ノ有利ノ条件ハ一切放棄シ又恐ル外蒙宣戰ノ事カ愛國ヲ借ツテ国ヲ誤ルコトヲ瑞カ政事ヲ聞カサル久シ本ト応サニ澆瀆セサルヘシ然カモ国家ノ利害ニ関シ緘黙スル能ハス諸公ハ皆封優ノ大吏真知灼見蓋シ欽佩スル所治安ヲ保持シ政府ヲ贊襄スルハ固ト鄙人ノ費詞ヲ要セサル所ナリ

ト是レ殆ント紛々囂々調印不調印ノ体度ニ対シ一ノ断案ヲ下シ各省督軍ヲ指導スルモノニ有之候此段及報告候也

一三五〇 六月五日

東在中國日本公使館附陸軍武官ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

米國ノ对中国接近工作及外交団ノ妥協勸告ニ

關シ政府某要人談話ノ件

(六月七日外務省接受)

支極秘二一六

米國ノ对支那陰謀ニ関シ政府某要人ノ語ル所左ノ如シ
米國公使ハ去月末某支那人ヲ介シ錢總理ニ内話セシメテ曰
ク支那政府ハ目下甚タシク財政窮乏ノ模様ナルカ御希望ナ
ラハ善後借款ノ成立マテ六、七十萬元ヲ前貸スルモ可ナリ
云々(右ハ國務院ノ一要人ヨリ聞ク所ト符合スルヲ以テ事
実ナリト認ム)ト如何ニモ中央政府ニ対シテ好意アル如キ
態度ヲ示セリ然レトモ其裏面ノ行動ヲ内探スレハ該公使ハ
上海會議決裂後間モナク前農商部顧問タリシ「アンダーソ
ン」ナル者ヲ李純ノ許ニ遣シ南京ニ旧国会議員ヲ召集シテ
憲法會議ヲ組織セシメ憲法議決後彼等議員ヨリ發議セシメ
テ長江三督軍及南方諸省ヲ連ネタル一獨立政府ヲ組織シテ
ハ如何ト提議セシメタリ此事ハ李純ハ勿論孫文孫洪伊等ノ
反対アリテ實施スルニ至ラザリシモ米國カ北方ニ於ケル親
日派ノ勢力比較的鞏固ナルヲ見テ南方ニ自己ノ味方ヲ作ラ
ントスル魂胆ナラスヤトモ疑ハル又學生ノ排日運動モ最初

ニ就任セントシ着々勢力ヲ扶植シツツアルコトノ關係ヨリ
朱ノ野心ハ成功ノ途ナキヨリ和平會議決裂前ヨリ梁士詒ニ
接近シ其斡旋ニ依リテ段及曹汝霖一派ノ新交通系ト提携シ
且總統府秘書長吳笈孫トモ連絡ヲ保持シ以テ馮國璋、李純、
熊希齡及ヒ研究会ヲ除ク北方各派代表團結シテ内政外交ニ
対シ左ノ方針ヲ取ルヘキ申合ヲ為セリト

一、北方團結、段派ハ朱啓鈴内閣ノ成立及梁士詒ノ政治的
活動ヲ援助シ朱、梁ハ段派ノ勢力ヲ保持ス徐世昌ハ依然
大總統タルヘシ

二、对南声明、南方各派ノ離間中傷ヲ行ヒ莫榮新、李根源
等ヲ援助シ陸榮廷等ト相争ハシメ一方旧国会ヲ成立セシ
メ雲貴及ヒ四川ハ別ニ交渉ス

三、外交、徐總統ハ各国勢力ヲ交互ニ利用シテ主トシテ日
米ニ信賴ス但シ必スシモ英米ヲ排斥セス

一三五二 六月十日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

曹交通總長辭職ノ内情ニ關スル件

第八四四号

(六月十一日接受)

六月(不明)本使曹汝霖ト会见其ノ進退ニ談及シタル際同

ハ林長民一派ノ煽動ニ基キシカ近頃ニテハ寧ロ米國側專ラ
之ヲ線縦シアル形跡アリ其運動費ノ額ハ不明ナルモ少ナカ
ラサル支出ヲ為シ居レリトノ噂アリ何レニシテモ米國カ日
本ノ勢力ヲ排除シ南北何レノ方面ニカ勢力ヲ扶植セント腐
心シアル事ハ明ナリ云々

該要人ハ尚今次外交団ノ妥協勸告ニ就テハ最近梁士詒一派
カ米國公使ニ運動シタル結果ニシテ米國公使ハ之ヲ好機ト
シテ他ノ四國ヲ勧誘シタルモノナリト語レリ

一三五二 六月六日 金谷天津軍司令官ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

北方各派ノ離合情況ニ關シ報告ノ件

(六月九日外務省接受)

天電九三

當軍機閣ノ報ニ依レハ北方各派ノ離合ノ情況左ノ如シ
南北媾和會議ノ開催ニ當リ北方總代表朱啓鈴ハ將來南北統
一ニ成功セハ其功ヲ以テ統一政府ノ國務總理タラントスル
ノ野心ヲ以テ南北交渉セシカ徐世昌カ支那總統タル如キ政
治的手腕ナク常ニ段ノ勢力ニ左右セラルルト北方代表ノ朱
ノ媾和条件ニ反対スルアリ且錢能訓モ統一政府ノ國務總理

人ハ激烈ナル輿論反対ノ目標トナリ居ルニ顧ミ断然辭職ノ
決心ナル旨ヲ語リタルガ今十日二三新聞ノ報ズル所ニ依レ
バ曹汝霖ノ辭職ハ遂ニ聞キ届ケラレ或ハ本日中ニ發表セラ
ルベシトノコトナルニ付船津ヲシテ權量ニ付確メシメタル
処同人ハ極秘トシテ実ハ昨今ノ風潮漸次險惡ニ赴キツツア
ル為メ錢總理六月九日人ヲ曹ノ許ニ遣シ此ノ際辭職サルル
方宜シカラント勸説セシメタルヲ以テ曹ハ勿論其ノ積リニ
テ請暇期ノ滿了(六月十日滿了)ト共ニ辭表提出スベシト

回答シタル由ニテ錢總理モ愈々之ヲ聽許スル筈ナリシ処右
錢總理ノ勸説ハ險惡ナル形勢緩和ノ為メナルコト勿論ナル
モ同時ニ李純ヨリ風潮鎮靜ノ一策トシテハ曹ヲ免職スル方
然ルベキ旨ノ來電ニ動カサレタルコト明白トナリ徐總統左
右ノ有力者間ニ外間ノ曹等ニ反対スルハ其ノ目的単ニ曹等
ノ辭職ニ止マラス結局現内閣ハ申ス迄モ無ク遂ニハ徐總統
迄モ掃蕩セサレハ止マサルヘク從テ曹ノ辭職タケテニハ風
潮鎮靜ハ得テ期スヘキニアラス偶或ハ之カ為メ中央政府ノ
弱味ヲ觀破セラレ却テ時局ヲ危殆ナラシムル虞アルニ付寧
ロ曹等ヲシテ断然踏ミ止マラシムル方得策ナリ又李純ノ意
見ヲ尊重スル為メナラハ若シ此際張作霖乃至倪嗣冲等ヨリ

反對ノ勸告アリタランニハ政府ハ果シテ如何ナル措置ヲ執ラルルヤ要スルニ斯ノ如キ問題ハ一二地方長官ノ進言ニテ左右セラルルハ面白カラストノ強烈ナル反對者出テ今十日大總統ノ裁決ヲ仰クコトトナリ居リ其ノ後ノ消息ハ未タ承知セスト内話シタル趣ナルカ本電起草中往電第八四一号ノ通り陸宗輿ヨリ曹汝霖ノ辭職今朝聽届ケラレタル旨内報アリタリ十日

一三五三 六月十一日 在中国小幡公使ヨリ内田外務大臣宛(電報)

曹交通總長等ノ辭職ニ関シ大總統令公布ノ件

第八四六号 至急 (六月十二日接受)

交通總長曹汝霖及章公使並ニ幣制局總裁陸宗輿ノ辭職ヲ許シ交通次長曾毓雋ニ部務代理ヲ命ズル旨六月十日附大總統令ヲ以テ公布セラル上海広東へ電報セリ

一三五四 六月十一日 在中国小幡公使ヨリ内田外務大臣宛(電報)

曹交通總長免職ニ対シ段祺瑞一派ノ反對強キ為大總統及國務總理辭表提出ノ件

一三五五 六月十一日 在中国小幡公使ヨリ内田外務大臣宛(電報)

徐大總統ノ辭職書受理ニ関スル国会討議模様並右辭職ニ関スル王克敏ノ内話等報告ノ件

第八五三号 (六月十二日接受)

六月十一日午後衆議院開会シタル処安福俱樂部ノ一議員ヨリ大總統ハ辭職書ヲ国会ニ送附セル由ナルガ本件ハ參衆兩院聯合会ヲ開キ討議スベキモノナリトノ緊急動議ヲ提議シタルニ同俱樂部ノ他ノ一議員ヨリ約法ニ国会ハ大總統ヲ選舉スルノ權アルモ大總統ノ辭職書ヲ受理スルノ權限ナキニ付本件ハ国会ノ討議ニ附スル迄モナク当然返還スベキモノナリトノ反對論出デ終ニ前者ノ緊急動議成立セズ當日ノ副議長劉恩格(王議長欠席ノ為)ヨリ国会ハ大總統ノ辭職書ヲ受理スルノ權限ナキニ付返送スベキ旨ヲ宣言シ次デ右辭職書ハ国会ノ受理スベキモノニアラズトテ十一日午前中ニ兩院議長ヨリ大總統ニ返送セル趣ナリ將又大總統ノ辭職ニ関シ王克敏ガ本使ニ内話スル所ニ依レバ錢總理ノ無力無能ナルハ定論ノアル所又徐大總統ノ優柔不斷ナルハ民国ノ大總統トシテノ適任者ニアラザルモ去リ

第八四九号 (六月十二日接受)

六月十一日權量ガ船津ニ語リタル所ニ拠レバ今回曹汝霖ノ辭職ニ対シテハ段祺瑞及其一派極力反對シ段ハ昨日親シク曹ヲ往訪シ辭職ヲ思止マル様勸告シ安福俱樂部ノ多数又同シク曹ノ辭職ハ大局上何等利益ナキノミカ却テ中央政府ノ動搖ヲ来ス虞アリトテ熱心ニ反對セシニ拘ラズ曹ハ辭意固ク交通部秘書ニ命ジテ辭表起草中国務院ニテハ錢總理徐總統ノ意図ヲ受ケ總統府及國務院兩秘書長等ノ贊成ニテ曹ノ正式辭表ヲ呈出セザルニ先ダチ倉皇曹汝霖免職ノ大總統令ヲ發布シタル為段祺瑞一派及安福俱樂部ノ一部大ニ激昂シ形勢甚ダ險惡ヲ呈シタル為大總統及總理亦共ニ辭表ヲ提出スルコトトナリ国会ニ回付セラレタルモ大總統ノ辭職ハ違法ナリトテ辭表ハ直チニ送還セラレタリ(參議院議長モ同様ノ事情ヲ船津ニ内報シ来リタル由)今後ノ政局如何ニ發展スルヤ予測出来難キモ当分混沌タル状態ニテ推移スルナラントノコトナリ更ニ他ノ方面ニ付精探中ナルモ右不取敢

上海広東へ電報セリ

トテ此時局ヲ收拾スルニ足ル大總統トシテハ馮國璋段祺瑞共ニ其器ニアラズ南方派ニハ素ヨリ斯カル人物ナキヨリ徐世昌ハ自己ノ責任ヲ回避シ又其苦境ヲ緩和セシガ為此際一応辭職ノ意ヲ仄カシ他ニ適任者ナキヲ一般ニ周知セシメ以テ大總統ノ地位ヲ確保セン一ノ芝居ニ過ギズト述ヘタリ他ノ情報ヲ綜合スルモ略同様ナルガ徐世昌ノ辭職ハ之ニテ一時沙汰止ミトナルモ今日ノ事態ヲ来タシ最モ明カニ政府ノ無能無力ヲ明カニ示シタル以上今後果シテ徐世昌ガ大總統ノ地位ヲ維持シ得ルヤ否ヤハ甚ダ疑問ト觀測セラル上海広東ニ電報セリ

一三五六 六月十一日 東在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ上原參謀總長宛(電報)

時局ニ関スル安福派領袖ノ談話報告ノ件

(六月十四日外務省接受)

支極秘第二三〇号

時局ニ関スル安福派領袖ノ談

一、大總統總理辭職問題

大總統辭職ノ理由ハ内治、外交共ニ円満ナル解決ヲ求ムルコト能ハサルニ依ルト云フニアルモ其ノ実ハ曩ニ曹、

陸、章ヲ慰留シ置キナカラ今ヤ学生、商会等ニ強要セラレテ其ノ職ヲ免スルニ至リシカ為彼等、曹、陸、章ニ対シ面目ヲ失シタル結果ナリ(一説ニハ大總統カ当初辞表ヲ提出スルニ至リシ直接ノ動機ハ一昨日曹汝霖ニ対シ未タ辞表ノ提出ナキニ矢張辞職聽許ノ命令ヲ發シ為ニ連リニ曹等ノ留任ヲ勸告シアリタル段一派ヲ憤慨セシムルニ至レル結果ナリトモ云フ)尚昨日最初ニ辞職ヲ申出テタルハ國務院一同ナリシカ錢總理ハ之ヲ聽キテ卿等ヨリハ予自ラ先ツ辞職スヘシトテ總統ニ辞意ヲ漏セリ然ルニ總統モ亦之ヲ聽クヤ卿ヨリハ予先ツ職ヲ退クヘキナリトテ遂ニ辞職書ヲ国会ニ致シタルモノナリト云フ然シテ国会カ此ノ辞職ヲ如何ニスヘキカハ先例モ無ク法規モ無ケルハ結局兩院聯合会ヲ開キ協議ノ上決定スルコトナリ其迄ハ該書類ハ国会ニ保留スルコトナルヘク(李王兩院議長ノ言ニ依レハ辞表ハ既ニ總統ニ返却セリト)總統モ遂ニハ辞職ヲ思ヒ止マルニ至ラン唯錢總理ハ辞職スルヤモ計ラレス其ノ後継者ハ多分田文烈ナラン段祺瑞ハ未タ出慮セス我々モ亦出慮セシムルヲ欲セス云々

二、国会問題

ハスハ東亜全局ノ為頗ル危険ナルヘキヲ感シ先ツ靳雲鵬段芝貴兩人ニ向ヒ直接忠告スルノ必要ヲ説キタルニ兩人共全然同意シ段ハ先ツ昨夜電話ヲ以テ第一ノ忠告ヲ行ヒ此際辞意ヲ仄カスノ不利ヲ説キタルニ国会ヘハ既ニ提出後ナリシカ国会ハ之レヲ受領セス各省ヘノ通電ハ發送ヲ取止メタル旨段芝貴ヨリ通報アリタリ尚靳ハ本日直接面会忠告スル筈ナリ

段芝貴ハ過日来学生取締ニ関シ政府ト意見ヲ異ニシ病氣引籠中

一三五八 六月十一日 在北京坂西陸軍少將ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

青木中将徐大總統ニ対シ山東問題ヲ留保スル
コトナク講和条件ニ調印スベキ旨勸告並同總
統ノ辞任事由等ニ関スル張志譚談話報告ノ件

(六月十四日外務省接受)

坂極秘第五八号

青木中将ハ小幡公使ノ意ヲ受ケ去ル五日大總統ニ会见シ山東問題ヲ留保スルコトナク講和条件ニ調印スルハ山東問題ヲ速ニ解決シ其ノ關係ヲ円満ナラシムル為必要ナル所

国会問題ニ対スル安福派ノ態度ハ一定セリ即チ新国会ノ立場上其ノ意地ヲ主張スルモ南北妥協上讓歩ノ要アリトセハ民国六年六月解散當時ノ旧国会ヲ其ノ儘回復セシムルニ在リ此ノ件ハ李、王兩院議長ヨリ既ニ總統府ニ通シ置ケリ(本件ニ関シテ王蔭泰ニ確カメタルモ事実ナリト謂ヘリ)

三、米國ノ陰謀問題

米國人陰謀本部ハ当地兵營内ニ在リ而シテ其經費ハ昨年歐洲戰負傷者救濟費ヲ募集セシ際支那ニ於テ得タル四十万円内六万円ハ基督青年会ニ寄附シタリ四十万円ヲ以テ充當セルカ如シ

一三五七 六月十一日 在北京坂西陸軍少將ヨリ
福田參謀總長宛(電報)

靳雲鵬及段芝貴ヲシテ徐大總統ニ辞意ヲ仄カ
スノ不利ナル旨忠告セシメタル件

(六月十四日外務省接受)

坂特電第二四号

昨日大總統辞意ヲ仄カスヲ聞クヤ小官ハ偏ニ此ノ際支那唯一ノ中心人物タルヘキ彼ノ意思堅確ヲ欠キ動搖ノ色ヲ現

以テ懇々勸告セシニ大總統ハ予ノ最初ヨリノ主張モ亦斯ノ如シトテ全然之ニ同意ヲ表セリ其後張志譚ノ言ニ依レハ大總統ハ同五日秘書長吳笈孫ニ命シ無条件調印ヲ(八字不明)嚴鶴齡(外交部參事兼總統府秘書)ニ電報シ彼ヨリ窃ニ陸徽祥ニノミ伝ヘシメタリ錢内閣亦六日同様ニ電報ヲ發セリト然ルニ昨日ニ至リ大總統辞意ヲ漏ラシ錢總理亦辞職セリトノ風説アリシヲ以テ青木中将ハ本十一日張志譚ヲ訪ヒ其真相ヲ訊シタルニ其答フル所左ノ如シ

大總統カ昨夜国会ニ対シ辞表ヲ提出シ各省ニ辞職ノ通電ヲ發セシハ事実ニシテ其理由ハ

一、過日北京ニ於ケル学生暴動ニ引続キ各地ニ学生商業團等ノ排日排日貨運動蔓延シ容易ニ熄マサルコト
二、講和条件ノ無条件調印ハ國家ノ為メ已ムヲ得サルニ拘ラス國民ノ反對ヲ受ケ特ニ最近ニ於テ国会又不同意ヲ表スルニ至リシコト

三、南北統一ハ現下ノ急務ニシテ大總統ノ最初ヨリ熱望セシ所ナリシニ新旧国会互ニ其主張ヲ固執シ容易ニ解決シ能ハサリシ如キ之等ハ畢竟徐總統自ラノ不徳ニ因ルト為シ總統ノ位置ヲ他ノ適任者ニ讓リテモ時局ヲ解決セント

スルニアリ

錢總理辭職ノ原因モ略之ト同様ナルモ無条件調印問題ニ関スル全責任ヲ一身ニ負担シ以テ国会ノ無条件調印ニ対スル反対ノ犠牲タラントスルモノナリ曹汝霖章宗祥ハ辭職ヲ許可セラレ益々彼等ヲシテ政府反対ノ氣勢ヲ融和スルト共ニ無条件調印ノ際彼等ノ討論ヲ得シテ再ヒ尙国奴ノ名ヲ擧ケ得サラシメントスル極テ巧妙慎重ナル方針ヨリ出テタルモ(不明)ノ考ヨリスレハ大總統ノ辞任ハ国会之ヲ許サス各省督軍等ハ必ス之ヲ挽留シ事実トナラサルヘシ錢總理ノ辭職ハ或ハ実現スヘキモ該内閣總辭職ハ明ナラズ錢總理辞任セハ其後任ハ段祺瑞ト懇意ナル周樹模ナラントノ呼声最モ高シ云々

一三五九 六月十二日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

徐大總統辭職申出事由ニ付報告ノ件

第八五四号 (六月十四日接受)

往電第八四九号ニ関シ

当地新聞ノ報スル所ニ依レハ徐大總統カ辭職ヲ申出ツルニ至リタルハ山東条約無条件調印ニ対シ第一安福系議員カ反

今外界ニ於ケル形勢頗ル險惡ニテ其ノ發展如何ニ依リ更ニ如何ナル變化ヲ来スヤ殆ント予測スルコト能ハス尚徐總統辭表ハ極メテ長文ナルモ其ノ内容ノ要点ハ青島問題無留保調印及南北和議不調等ニ対シ責任ヲ負フトノ趣旨ニ外ナラサル趣ナリ

一三六一 六月十三日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

大總統ノ辭職問題及後任國務總理問題ニ関シ

施參事西田ニ対シ内話ノ件

第八六〇号 (六月十四日接受)

六月十二日施參事ハ西田ニ対シ大總統ノ辭職問題ハ事実トナラス予定ノ計画通り一段落ヲ告ケタルモ本日午後錢總理以下内閣員一同總辭職ヲ為セリ果シテ總辭職カ閣届ケラルルヤ否ヤハ未タ断言シ難キモ後任總理ニ孫宝琦田文烈周樹模ノ呼声高ク目下何トモ未タ決定セス但シ今日ノ事態ハ到底内閣ノ更迭ヲ見スシテハ止マサルヘク結局周樹模總理タルニ至ルヘシト内話セル趣ナリ

右上海広東へ電報セリ

対ノ表示ヲ為シタルノミカ国民一般カ反対スルニ依ルト云ヒ国会ノ次任大總統選舉ヲ求メ各省督軍ノ意見ヲ求メタルニ多数督軍ヨリハ無論慰留ノ電報アルヘク期待セラルルトノコトナルカ右ハ真相ニ近シト認メラルルモ尚其ノ筋ニ付内探中ナリ

南京へ電報セリ

一三六〇 六月十二日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

徐大總統錢國務總理ノ辞任問題ノ成行ニ付李

盛鐸談話ノ件

第八五五号 (六月十三日接受)

六月十一日李盛鐸ノ船津ニ語リタル所ニ依レハ徐總統辭表ハ兩院代表親ク徐總統ニ還附セントシタルモ總統ハ固ク之ヲ拒絕シタル為メ已ムヲ得ス辭表ハ其ノ儘持チ帰リ唯今自分(李)ノ手許ニ預リ居レリ又錢總理ノ辭表ハ徐總統ニ提出ノ際懇々タル慰留ノ挨拶アリテ右辭表ハ今尚徐總統ノ手許ニ留メアル由又段祺瑞始メ安福俱樂部モ引続キ徐總統ヲ支持スルコトニ諒解成立シタル由ナレハ總統總理ノ辭職問題モ或ハ之ニテ一段落ヲ告グルナラント思考セラルルモ昨

一三六二 六月十四日 在北京坂西陸軍少将ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

錢能訓國務總理辞任及龔心湛同代理ニ任セラ

レタル件

(六月十四日外務省接受)

坂電五八

本日大總統令ニテ國務總理錢能訓ハ依願本職ヲ免セラレ龔心湛國務總理代理ニ任セラ

一三六三 六月十六日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

後任國務總理問題ニ関スル情報報告ノ件

第八七七号 (六月十七日接受)

往電第八六三号ニ関シ

当館及各方面ニ於テ入手ノ情報ヲ綜合スルニ目下周樹模内閣員ニ付詮衡中ニシテ段祺瑞モ大總統ノ希望ヲ諒トシ周樹模ノ總理タルニ同意ヲ表シタル由ナルモ一面安福俱樂部ノ幹部カ同派ニ於テ全然内閣ノ実権ヲ占メントスル魂胆ヨリ周内閣組織ニ反対シ始メ各方面ニ比較的反感尠キ田文烈ヲシテ内閣ヲ組織セシメントスル運動漸ク有力トナリ来タリ

タルノ感アリ但シ未タ何レトモ決定ニ至ラス政界時々刻々ニ変化する為メ確言シ難キモ差当リ翼總理代理ニテ現状ヲ維持シ後任内閣組織確定ニ至ル迄ハ尚多少ノ時日ヲ要スヘシト認メラル委細郵報

一三六四 六月二十一日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

周樹模ノ組閣困難ナル内情ニ関スル件

機密第二七八号 (六月二十六日接受)

大正八年六月二十一日

在支那

特命全權公使 小幡西吉(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

新内閣組織經過情況ニ関スル件

本件ニ関シテハ往電第八七七号ヲ以テ大要電報致置候処其後諸方面ノ情報ヲ綜合スルニ大總統ハ周樹模ヲシテ後繼内閣ヲ組織セシメムトノ意思ヲ有シ段祺瑞モ之ニ同意シ居レルモ段派及安福俱樂部ニ於テハ同派ノ有力者ヲ割込マシメ以テ内閣ノ実権ヲ其手ニ壟断セントノ野心ヲ有スル折柄周ノ黒幕參謀トモ目スヘキ而カモ安福派ノ仇敵視スル熊希齡

機密第三〇八号 (七月十五日接受)

大正八年七月十日

在支那

特命全權公使 小幡西吉(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

今般西北籌邊使トシテ徐樹錚ノ任命ヲ見タル次第ハ既電ノ通ニシテ且ツ又右任命ヲ見ルニ至レル行札ニ就テハ冀ニ國務院參議袁良ヨリ我方ニ内議シ来レル墾牧事業計畫ノ蹉跌ト内実相關聯スル所無キニ非ス結局段祺瑞カ熱心ナル支持ヲ徐樹錚ノ計畫ニ對シ与ヘタル為メ其効ヲ奏シ一面會々錢總理ノ失脚ト共ニ袁良ノ計畫ニ齟齬ヲ来シタルモノト認ムヘキ次第ハ是亦客月十八日附機密送第二七六号ヲ以テ及具報置候通ニ有之候処其後徐樹錚ハ籌邊使ニ任命ノ翌日即六月十四日ヲ以テ就職ノ旨ヲ公告シ更ニ其翌十五日各關係長官及督軍省長ニ對シ別紙甲号ノ如キ通電ヲ發シ(陸榮廷ニ對シテモ同様發電シタルハ聊カ注目ニ値ス)国内統一後ニ於ケル兵數削減ノ急務ナルト財力涵養ノ途トシテ開墾並ニ鉱業ニ頗ル望ヲ囑スヘキノ事實ニ鑑ミ今回西北籌邊使ヲ設置スルニ至レル所以ヲ説述シ各地方官憲ノ後援ヲ希望スル

ト密接關係ヲ有スル張國淦ノ入閣疑ナキヲ探知セル安福派ハ周ヲ總理トスルニハ差シテ反對ナキモ周内閣閣員ノ顔振如何ニ付異議ヲ唱ヘ出シ其結果比較的各方面ニ反對少ナキ田文烈ヲ總理トシ自派ノ閣員ヲ以テ新内閣組織セント計畫セルモ田文烈ハ未タ之ニ承諾ヲ与フルニ至ラス一方大總統モ亦内心周内閣實現ヲ希望シナガラ国会ニ於テ多数ヲ占ムル安福俱樂部ニ對スル氣兼ヨリ表面ハ田文烈、王揖唐、周樹模ノ三名中何レニテモ可ナリトノ意ヲ表シ尚裏面ニ於テ周内閣ノ成立ニ就キ種々面策ヲ運ラシツツアル模様ナリ然ルニ王揖唐自身ニ於テハ真意ハ兎モ角此際自カラ總理タルハ絶対ニ承諾セサル旨表示シツツアリ從而新内閣組織ハ各派ノ複雜ナル魂胆運動ニヨリ尚未タ決定ニ至ラス或ハ冀代理總理現地位ニ当分居据リノ儘幾多ノ迂余ヲ經テ新内閣組織實現スルニ至ルヘキカト觀測セラル本件今日迄ノ狀況不取敢此段報告申進候也

本信写送付先 上海天津廣東各領事

一三六五 七月十日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

徐樹錚ノ西北籌邊使任命ニ関スル件

ノ意ヲ明カニシ事務所ヲ北京ニ設置シテ着々準備ノ歩ヲ進ムル旨ヲ告ケタルモ籌邊使ノ職務權限等ニ関シテハ尚明定スルモノアラス漸ク一部反對派ノ論議ヲ招カムトスルニ至リタルヲ以テ政府ハ竟ニ西北籌邊使官制案六箇条ヲ草シ本月五日之ヲ国会ニ提出シテ其承認ヲ求ムルニ至リ候右官制案ノ内容ハ別紙乙号ニテ御了悉ノ通り專ラ西北各地方ニ於ケル交通墾牧林鋳硝塩商業教育兵衛等一切ノ事宜ヲ籌弁シ同地方ニ派駐スヘキ軍隊ノ指揮監督ヲモ統理セシメムトスルニ在リテ予テ伝ヘラレタルカ如ク過剩兵員ヲ屯田兵トシテ边防開墾ニ当ラシムトスル計畫ノ一端タルコト殆ト疑無キト同時ニ其權限ノ極メテ広汎重要ナルモノアリ之ヲ以テ段派若ハ徐樹錚勢力維持ノ根拠ト為ス深意アルニ非スヤトモ認メラレ候然ルニ右官制案ノ国会ニ提出セラルルヤ安福派ハ一氣ニ之カ通過ヲ期シタルモ錢前總理ト關係アル己未俱樂部ハ徐樹錚反對派ト結託シテ激烈ナル反對ヲ試ミ其通過ヲ阻止セントシタルカ遂ニ議場ノ混乱ヲ惹起シ贊否兩派ノ間ニ活劇ヲ演スルノ醜狀ヲ見結局該提案ノ議了ヲ見ルニ至ラスシテ散會ヲ告ケタル次第ニ有之候然ルニ己未俱樂部一派ノ本案ニ對スル反對ハ更ニ右議場ニ於ケル活劇ニ依ツ

テ一層激成セラレタル感アリ現ニ同倶楽部議員ハ北京天津漢口上海ニ於ケル各新聞社ニ対シ別紙丙号ノ如キ通電ヲ発シ(一)籌邊使ノ權限ノ範圍汎汎ニ失シ(二)其ノ根本ニ於テ已ニ軍民分治ノ原則ニ悖戾スルノミナラス(三)其動機亦畢竟軍閥カ個人ノ為ニ強テ位置ヲ作ラムトスルニ過キサルトコト等八項ヲ挙ケテ是非ヲ輿論ニ訴フル旨ヲ高唱致居候事態右ノ通りニ付本件ノ前途ニ就テハ尚紆余曲折ヲ免カレ難カルヘシト認メラルルモ一方政府一部ニ於テハ国会ノ承認如何ニ拘ハラス着々予定計画ノ進捗ヲ計ラムトスル議昨今有力ナル趣ニ有之今後ノ経過ニ就テハ更ニ隨時可及追報候得共右不取敢報告申進候也

註 別紙甲乙丙各号省略

一三六六 七月二十一日

在奉天赤塚總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

督弁參戰事務所裁撤ト督弁刃防事務処設置決
定ニ関スル件

第一九四号

(七月二十二日接受)

在支公使發本官宛電報第一二八号

左ノ通大臣ヘ転電シ尚關東長官吉林哈爾濱齊々哈爾松平ヘ

迄ノ運ヒトナリ居ル故急遽帰任シ当事者ノ意見ヲ求メシニ彼等ハ徐總統ノ人物余リニ田滿ニシテ優柔不斷ノ嫌アリ過般ノ学生暴動山東問題排日排日貨等ノ諸運動ニ對シ政府トシテ何等ノ処置ヲモナササリシハ其適例ナリトテ甚タ不満ヲ感シ居リ彼ハ南北統一問題ニ對シテモ極メテゴジヨ(脱)及政府ハ意見一致シアラス唯財政欠乏ニヨリ現政府ノ瓦解センコトヲ憂フルノ点ハ吾人ト其感ヲ同フス既ニ公使ヨリ其筋ニ相当ノ手段ヲ取リアル旨ヲ語リシニ張ハ我政府ノ好意ヲ諒トシ親日ノ情態ヲ(脱)何等カノ方法ニヨリ毎月必要ノ政費ヲ得ルノ途ヲ開クヲ得ハ幸之ニ過キス大總統所要ノ機密費ノ如キハ今日ニ於テハ絶対ニ必要ト認メ居ラス山東問題学生暴動等ニ関シテハ大總統ニ於テ相当ノ考案ヲ有スルモ反對派ニ制セラレ實施スルヲ得サリシカ今ヤ反對派ノ勢力モ衰ヘシ故以後ハ敏活ノ処置ヲ為シ得ヘシトテ徐總統對段祺瑞關係山東問題南北統一等ニ関シ左ノ如ク詳述セリ

(一)段派ノ一二隱謀家ハ段ノ名ヲ藉リ大總統ヲ抑制セル為メ徐世昌段祺瑞間ノ親善ヲ欠キ徐モ常ニ段ニ氣兼シテ自己ノ意ノ如ク事ヲ進ムル快速ナル能ハサリシカ最近段ハ徐

モ転電アリタシ
第一〇二九号

七月二十日大總統令ヲ以テ「現在歐戰終了シタルニ付督弁參戰事務処ハ直ニ裁撤スベキモ唯邊疆一帶地方ハ穩ナラズシテ時々過激派ノ紛擾スル虞アルヲ以テ邊疆防備ヲ鞏固ニスルハ極メテ重要ナリ依リテ督弁刃防事務処ヲ開設スル旨公布シ尚同日附ヲ以テ段祺瑞ヲ督弁刃防事務ニ特任セリ奉天ヘ転電シ奉天ヨリ關東長官吉林哈爾濱齊々哈爾松平ヘ転電セシメタリ(七月二十日)

一三六七

在北京坂西陸軍少將ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

中国内政外交諸問題ニ関シ張志潭内話ノ件

(八月九日外務省接受)

坂極秘電第七三号

青木電

一昨四日張志潭ハ孫潤宇ト共ニ來訪セルヲ以テ小官ハ彼等ニ對シ小官ノ日本ニ於テ奔走セル次第並ニ我軍事當局及元老ノ意見モ略予ノ意見ニ一致シアリシコトニ於テモ亦反對ナク只念ノ為一応小幡公使ノ意見ヲ慥カメタル後確定スル

樹錚ノ為誤ラレタルヲ覺醒スルニ至リ大總統トノ關係遠ニ親密トナレリ其ノ是ニ至リシ結果次ノ如シ
一、錢能訓辭職ノ際大總統ハ周樹模ヲシテ後任總理トナサントシ之ヲ段ニ諮リシニ段ハ之ニ贊成シ且議會多數党タル安福派ノ周樹模承認ヲ引受ケ徐樹錚曾毓雋ニ其ノ旨ヲ含マシム然ルニ彼等ハ段ノ意ヲ枉ケ安福派議員ニ告クルニ段ハ錢ノ辭職ヲ望ムノ余リ無理ニ周樹模贊成ヲ装フモ是レ其真意ニアラス宜シク大ニ反對スヘキヲ以テセリ段祺瑞後ニ至リ之ヲ知り大ニ徐樹錚等ノ專恣ヲ惡ミタリ
二、山東騷擾事件發生スルヤ大總統ハ省長ヲ交代セントシ後任者ノ人選ヲ山東出身者タル關係上新雲鵬ニ諮リ斬段祺瑞ト相談シ前浙江省長タリシ屈映光ヲ推薦ス然ルニ安福派ハ徐樹錚ノ使噉ニヨリ之ニ反對ス段祺瑞之ヲ知ルヤ直ニ大總統ニ面謁シテ即時省長ノ任命ヲ發表セシム
三、段祺瑞ハ徐樹錚ノ橫暴行為ヲ承知セシ以來從來彼等ノ為ニ誤マラレタルコト多キヲ感シ各方面ニ對シ徐樹錚等ノ為ス所ハ決シテ其本意ニアラサルコトヲ發表セリ
四、段ハ從來徐樹錚ノ手ヲ經テ安福派議員ニ配与セシ特別手当ヲ爾令政府ヨリ直接支給スルコトニ改メ以テ彼等ヲ

シテ政府擁護ノ決心ヲ鞏固ナラシメントシツツアリ

ホ、參戰軍事務処ヲ改メテ辺防事務処トセル際段ハ從來參戰処參謀長タリシ徐樹錚ヲシテ繼任セシムルコトナク傅良佐ヲ以テ辺防処參謀長ニ新任セリ

ヘ、傅良佐辺防処參謀長ニ任命セラルルヤ徐樹錚大ニ之ヲ喜ハス事務引継ヲ拒ム段祺瑞大ニ怒リ徐ニ対シ交代事務ノ至急引継ヲ嚴命セリ

ト、要スルニ段ト徐トノ間日日ニ疎隔シ之ニ反シ大總統トノ關係日日融和シツツアルハ幸ナリ

(二)山東問題ニ関シテハ曹汝霖ニ内命シ北京ニ於テ非公式ニ日本当局ト大体ノ取極ヲナサシメタル後在巴里講和委員ニ電報シ彼等ヲシテ公式ニ之ヲ処理セシメ以テ外間一部ノ反対ヲ防カントシツツアリ

(三)借款ニ関シテハ陸宗輿ニ命シ秘密ニ日本ニ頼リ一般ノ誤解ヲ防キツツ事ヲ進メント計画中ナリ

(四)南北妥協問題ニ関シテハ兩政府及有力者間ニ於テ著々意見ノ交換ヲ遂ケ最後形式的ニ上海會議ヲ再會シテ法律問題ヲ決議シ落著セシムルコトニ其歩ヲ進メツツアリ而シテ谷鐘秀等政学会派ノ旧憲法會議再興論ニハ徐總統ハ略

アリテ此ノ事情ヲ探知シタル段ハ徐ノ不都合ヲ怒リ漸次ニ之ヲ遠ザケントシ徐モ又政界ニ偉大ナル勢力ヲ振フノ背景トシタル段祺瑞ノ信任ヲ失ハントスルノ結果漸ク孤立失意ノ地位ニ陥ラントシツツアルモノノ如シ其詳細ノ内情トシテ張志潭ガ青木中將ニ内話セル所ニ依レバ過般段ガ徐總統ノ内囑ヲ引受ケ周樹模内閣組織方ヲ徐樹錚ヲ通シ安福俱樂部ニ交渉シタル節徐樹錚ハ段ノ意図ニ反シ安福俱樂部ヲシテ内閣ニ反対セシメタル内情後ニテ段ノ知ル所トナリ之ヨリ段ハ痛ク徐ノ不誠実陰險ヲ憎ミ其關係日日疎隔スルニ至リ近頃辺防督弁署參謀長ニ傅良佐ヲ任命シタルガ如キモ段ガ徐ヲ遠ザケタルノ一例ナリトノコトナリ

右段祺瑞徐樹錚乖離段祺瑞徐世昌親近説ハ独リ張志潭側ノミナラズ他ノ方面ヨリノ消息ニ依ルモ大体一致スル所ナルガ故ニ略ボ事実カト認メラル尤モ陸宗輿等モ右ヲ略ボ事実ト觀察シ居ルモ陸ノ言フ所ニ依レバ元來段ノ幕下ニ二派アリ靳雲鵬、吳光新、傅良佐、張志潭、曲同豊等ヲ其ノ一方トシ徐樹錚、朱深、吳炳湘、曾毓雋等ヲ他ノ一方トスル処近來徐樹錚ガ段ノ信任昔日ノ如クナラザル為メ此ノ一派ヲ結束セントスル觀アルト同時ニ段トノ關係モ未ダ全然斷絶

贊成シ段祺瑞モ同會議決条項中督軍等ノ最モ反対セシ条項ヲ若干修正セハ強テ反対セサル意向ナリ

之ヲ要スルニ北京政府内部ノ軋輾ハ次第二融和シ徐段一致シテ事ニ当リ特ニ段カ從來ノ主張ヲ枉ケテ南北妥協ニ関シ徐總統ト其説ヲ一ニスルニ至リシ關係上今後北京ノ政局ハ從前ヨリモ健全ナル發展ヲ見ルモノト觀察セラル就テハ我對支政策ハ曩ニ小官等主張ノ如ク確定スル様御尽力ノ程切望ニ堪ヘス

一三六八 八月七日 在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

段祺瑞徐樹錚乖離説ニ関スル件

第一一五号 (八月八日接受)

最近張志潭ガ段祺瑞徐樹錚ノ關係又昔日ノ如クナラズ其交情日日冷却シツツアルト同時ニ段ト徐世昌トノ關係ハ却テ日日密接親善ナラントシツツアル模様ヲ詳細青木中將ニ内話セル趣ニテ右ハ同中將ヨリ既ニ參謀本部ニ電報シタルニ付詳細ハ右御取り寄セノ上御承悉ヲ請フ要スルニ段徐交情ノ隔離スルニ至レル原因ハ近來徐ガ段ノ意図ニ悖リ安福俱樂部トノ中間ニ立チ往々惡辣陰險ナル行動ヲ擅ニシタルニ

シタリト言フ訳ニモアラサルガ故ニ徐ガ今尚時ニ段ニ対シ徐總統ノ優柔不断反覆常ナク其ノ友ヲ売ルコトスラ容易ニ忍ブノ性格ヲ指摘シ徐世昌ヲ信賴援助スルノ不得策ナルヲ力説シ離間ヲ試ミルガ如キコトアリ段モ之ニ動カサルコトナキニアラズ要スルニ徐段ノ鞏固ナル結合ハ目下ノ政局ニ於テ極メテ必要ナルモ段ガ徐世昌擁護ニ傾キツツアルニ不拘時ニ右ノ如キ外間ノ離間説ニ動カサルハ一ニ徐世昌ノ罪ニシテ同人ガ余リニ優柔不断定見ヲ欠クガ故ニ段ヲシテ尚未ダ十分ニ踏込ミ總統援助ヲナスノ鞏固ナル決意ヲ固ムルニ至ラザラシムル次第ナリ兎モ角聞クガ儘御參考迄ニ電報ス

在上海總領事へ郵送セリ

一三六九 八月二十七日 南天津軍司令官ヨリ 上原參謀總長宛(電報)

馮國璋ノ野心ニ関シ中国要人談話ノ件

天電第一六二号 (八月二十九日外務省接受)

馮國璋ノ野心ニ就キ支那要人ノ談 馮ハ表面政界ヨリ隱逃シタルモ政治運動ニ奔走シ再ヒ政權ニ近付カンカ為諸種ノ隱謀ヲ企テ近來段派ノ勢力ヲ破壊セ

ンカ為段ト徐樹錚トノ離間方法ヲ試ミ浙江督軍ノ後任ニ李純ヲ押シ王占元、陳光遠ヲ説得シテ盧永祥ヲ推薦セシメ表面段派ノ歡心ヲ迎ヘ裏面ヨリハ上海護軍使ノ後任ヲ段派ヨリ推薦シアルニ拘ラス自派ノ王廷楨ヲ押シ政府ヲシテ任命ヲ実施スルノ已ムナキニ至ラシメ又張勳ノ長江巡閱使復職ヲ段派カ運動シ居ル如キニ徴シ其ノ実馮自ラ巡閱使トナリ長江一帶及其以北ニ勢力ヲ張り次期大總統ニ當選セントスル準備ヲ為サントスル意アリト

一三七〇 九月八日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

靳雲鵬ノ總理代理任命内定ニ関スル件

第一二二三号

(九月九日接受)

九月七日孫潤宇ガ西田ニ内報セル所ニ依レバ龔總理代理ハ主トシテ財政窮乏問題ニ基キ財政總長及總理代理兼任辭職ヲ申出デ大總統ハ段祺瑞ニ總理タランコトヲ求メタルモ断リ田文烈ヲ推挙シタルモ之亦絶対ニ承諾セザルニヨリ靳雲鵬ヲ推挙セリ靳ハ当初之ヲ断リシモ大總統ハ張志潭ヲシテ極力勸メシタルニ依リ漸ク承諾スルニ至リ終ニ大總統ハ龔總理代理ノ辭職ヲ許シ靳雲鵬ヲシテ總理代理ヲ兼ネシメ財

政次長李思浩ヲシテ財政總長代理タラシムルコトニ内定シ兩三日中ニ發表スル筈ナル趣ナリ尤モ九月七日李盛鐸ハ西田ニ對シ龔總理代理辭職ノ主ナル理由ハ過日ノ大總統府會議ニ於テ財政救済ノ為メ民國八年公債五千万元發行計画ニ関シ龔總理代理ハ臨時會議ニ於テ予算案議了ノ上該公債發行案ヲ提出セント主張セルニ對シ他閣員等ハ軍費其他ノ窮乏切迫ノ実情ハ斯ル緩慢ナル手續ヲ待ツ能ハズ該案ハ速ニ之ヲ公布シ後日国会ノ追認ヲ得ルノ形式ヲ執ラント主張セルニヨリ終ニ辭任ヲ申出デタル次第ナルモ国会議員側ハ何トカ疏通ヲ計ルニ付辭職ヲ思ヒ止マル様自分等ヨリ慰留シ居ルニ付或ハ辭意ヲ翻ス可キヤモ計リ難キ旨内話セル趣ナリ

一三七一 九月十一日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

靳雲鵬總理代理任命承諾ニ反対スル安福派ノ策動ニ関スル件

第一二三六号

往電第一二二三号ニ関シ (九月十二日接受)

樹錚等安福系ノ有力者ハ靳ノ總理トナルハ自派ニ好都合ナラストシ終ニ龔ノ居据リヲ画策シ玆ニ總理更迭問題ニ一頓挫ヲ來タシタル次第ナリ然ルニ段カ徐樹錚ノ反覆ヲ怒リ詰責甚タ急ナルニヨリ徐樹錚ハ窮余ノ一策ヲ案シ終ニ倪嗣冲ヲ上京セシメ同人ヲシテ頓リニ段ヲ宥メ北方派カ多事ノ今日相權執ヲ為スハ頗ル面白カラサルニ付總理更迭ノ如キモ此際暫ク之ヲ見合セ然ルヘキ旨ヲ説カシメツツアル次第ニテ倪ノ來京ハ主トシテ此ノ為ナリトノコトナリ

一三七三 九月十五日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

段祺瑞ニ大勳位授与ノ件

第一二五六号

(九月十七日接受)

支那參戰ニ関スル前國務總理段祺瑞ノ功ヲ偉大ナリトシ特大勳位ヲ授クル旨ノ大總統令九月十五日附宣布セラレタリ

一三七四 九月十五日 在天津給津總領事ヨリ
内田外務大臣宛

安徽派打倒ノ為画策中ノ馮國璋ノ行動ニ関ス

上海広東ヘ転電セリ

一三七二 九月十三日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

國務總理更迭問題ニ関シ王克敏來談ノ件

第一二五二号

(九月十四日接受)

國務總理更迭問題ニ関シ九月十三日王克敏來訪語ル所ニ依レハ当初安福俱樂部ハ司法總長朱深ヲ以テ龔心湛ノ後任ニ擬シ居リタルモ徐樹錚其他之ニ同意セス終ニ靳雲鵬ヲ推スコトトナリ段祺瑞モ之ヲ承認シ愈々發表ノ段取トナルヤ徐

ル件

機密第五七号

(九月二十三日接受)

大正八年九月十五日

在天津

總領事 船津辰一郎(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

馮国璋ハ郷里直隸省河間府ニ帰臥シテ後モ直隸派頭目トシテ常ニ關係者筋ト共ニ安徽派ノ對抗ニ腐心シ山東問題ノ勃発ヲ機トシ暗中密カニ南方派並李純、陳光遠、王占元所謂長江三督軍ト氣脈ヲ通シ熊希齡、林長民等ノ策士連其他直隸派ヲ使嗾シテ排日風潮ヲ煽動シ以テ現政府及安徽派攻撃ノ具トナシ中央政府ヲ混乱シ時機ノ至ルヲ待チ居レルコトハ今日ニテハ既ニ世人周知ノ事実ニシテ錢能訓内閣ノ瓦解スルヤ馮等ハ密カニ熊希齡内閣ノ企劃ヲ夢ミ先ツ直隸ニ於テハ自家一味ノ徒ヲ以テ固メントシ張調辰ヲ督軍ニ省議會議長辺守靖ヲ省長ニ商務總會長下蔭昌ヲ実業厅长ニ紳商孫仲英ヲ财政厅長ニ任スヘキ約成レリトノ風説サヘ生シタル有様ニテ辺守靖以下当地出身者就中孫仲英ハ排日ノ急先鋒トシテ盛ニ活動セル処尚馮ハ前頭目的遂行ノ為メ言論機關

ノ買収ヲ企図シ之カ為メ天津地方ニ於テハ七十萬元ヲ支出シ辺守靖及排日紙益世報出資者ノ一人ナル孫仲英等ヲシテ孫カ同報總理劉俊卿ト懇意ナル關係ヲ利用シ同報ヲ通シ各新聞社ノ勢力ニ応シ之ヲ分配シ又南京上海方面ニハ百萬元ヲ提供シタリトノ巷説流布セラレ居リ候尚又學生ノ排日運動費トシテモ馮關係者筋ヨリ不尠金額ヲ支出セリト伝ヘラレ居候元來貪吝ナリトノ評アル馮カ新聞買収ノ為メ前記ノ如キ多額ノ金錢ヲ支出シタリトハ信シ難キモ最近王芝祥カ小官ニ語ル所ニヨルモ前述政客操縦學生煽動ハ事実ト認メラレ候

最近倪嗣冲ノ北上南北和議代表王揖唐ノ南下直隸督軍省長等ノ更動説專ラナル際馮ハ突然河間府ヨリ小蒸汽船ニ搭乘シ水路本月七日着津シ旧奥国租界ナル自邸ニ入レルカ右ハ徐總統ノ請ヒニヨリ南北和議及時局收拾ニ関シ意見ノ交換ヲナス為メ出京ヲ求メラレタル為メナリト伝ヘラルルモ未タ晋京セス爾來当地有力者間ヲ頻繁ニ往来シ何事カ疑議シ居レルモノノ如クニ有之候
右御參考迄及報告候 敬具
本信写送付先 在支小幡公使

一三七五 九月十六日

在奉天赤塚總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

王揖唐來奉ニ関シ張作霖直話ノ件

第二七一号

(九月十七日接受)

北方代表王揖唐來奉ノ用向ニ関シ九月十六日張作霖ノ直話ニ依レハ今回王カ北方代表トシテ上海ニ赴クニ就テハ其ノ後楯トシテ北方督軍團ノ援助ヲ必要トシ之カ打合せノ為來レルモノニシテ北方督軍側ノ意見ハ北方ニテ南方ノ代表者ニ反対セサル限り南方側ニテ北方代表者ノ可否ヲ論スヘキモノニアラスト云フニ一致セリ唯和議ノ条項ニ反対スルコトハ別問題ナリト語レリ
在支公使へ電報セリ

一三七六 九月二十三日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

張作霖曹錕等ノ冀心湛財政總長辭任要求ニ関

シ孫潤宇内話ノ件

第一二八二号

(九月二十四日接受)

九月二十三日孫潤宇ノ内話ニ依レハ最近張作霖曹錕等ヨリ

一四 中国内政關係雜件 一三七五 一三七六 一三七七

財政總長タル冀心湛ニ対シ軍費不仕払数月ニ亘リ未タ其ノ支出ニ付確タル弁法ナキニ依然財政總長ノ地位ニ在ルハ何ノ意ナリヤトテ殆ト辭職勸告同然ノ電報ヲ寄セ來リタル為冀心湛ハ大ニ憤慨シテ既ニ大總統ニ対シ總理代理及財政總長ノ辭表ヲ提出セリ尤モ曩ニ一旦辭意ヲ申出終ニ正式辭表ヲ提出セザリシハ徐樹錚ノ勸告運動アリシカ為ニシテ今回モ徐樹錚等ヨリ冀ノ辭職中止運動アルヘキニ付断言ハ致シ難キモ多分右運動ハ効果ナカルヘク總理代理ノ後任ハ靳雲鵬ノ外目下適任者ナシ何レ數日内ニ決定スヘク徐樹錚等ノ安福系ハ冀ノ總理代理ニハ満足シ居ラサルモ冀ハ徐樹錚ノ四個混成旅団ノ軍費等ハ他ノ軍費ニ先タチテ融通シ居ル為此際他人ノ更送ヲ希望セサル次第ナルモ此点カ蓋シ張作霖曹錕等ヨリ激烈ナル反対ヲ提起セル原因ナリ云々

一三七七 九月三十日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

國務總理代理及財政部務代理任命ノ内情並段

祺瑞ノ國務總理就任ノ必要性ニ関スル件

機密第四〇九号

(十月七日接受)

大正八年九月三十日

一五一一

在支那

特命全權公使 小幡西吉(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

靳雲鵬カ国務総理トナリタル経緯ニ関シテハ往電第一二八二号ヲ以テ大要及報告置候処孫潤宇及周家彦カ西田通訳官ニ内話セル所ヲ綜合スルニ九月十九日大總統ハ龔總理代理ヲ召見シ仲秋節期切迫シ軍費支出弁法未タ確定セス各地軍隊ノ不平起リ居レルカ若シ該節期ニ至リ相当ナル支出出来サルニ於テモ強ヒテ足下ヲ總理代理ノ任ニ置キ其責任ヲ負ハシムルハ足下ノ為メ忍ヒ難キ所ナリト述ヘ暗ニ龔ニ對シ辭職スヘキ時機ナル旨ヲ仄メカシタルヨリ龔ハ多少不滿ヲ抱キタル一方曹錕、張作霖等ヨリ龔ニ對シ軍費不仕払ニ對スル弁法ナキヲ口実ニ激烈ナル反對ノ電報アリシ為メ大ニ憤慨シ二十日辭表ヲ國務院迄送付シタルモ徐樹錚等ハ右辭表提出ヲ引止メタルヨリ一時大總統ニ提出ヲ見合セタルモ靳雲鵬ノ總理代理タルハ龔ニ大總統及段祺瑞ノ話合ノ結果ナルト四囲ノ情況ハ龔辭職ノ外ナキヨリ龔ニ斬ノ總理代理ヲ好マサリシ徐樹錚モ斬ノ總理代理タルニ反對セサルコトトナリ九月二十四日午前龔自ラ大總統ニ謁見ノ上正式辭表

ヲ提出シタルカ龔今回ノ辭表提出ハ第一回ナルヲ以テ普通ナラハ大總統ニ於テ一度ハ慰留スヘキ筈ナルニ何等ノ慰留ヲ為サス許可ノ意ヲ伝ヘ同日午後龔ノ辭職ヲ許シ靳雲鵬ノ總理代理任命公布アリタル次第ニ有之斬ノ總理代理タルハ段祺瑞系ノ武人派タル吳光新、傅良佐等ノ希望スル外主トシテ段系文治派タル張志潭、楊熊祥(國務院參議)等ノ從來企画セル所ナルニ付斬ハ今後重ニ右文治派ノ援助ニヨリ施政ヲ行フコトトナルヘク徐樹錚、曹毓雋等ノ安福派トノ關係如何ト懸念セラルル点ナキニアラサルモ現在ニ於テハ安福派ニテモ段派ノ二派ニ分カレ相争フノ不得策ナルヲ知り斬ノ總理代理ニハ反對セサルヘシト觀測被致候將又財政部務代理ハ資格ヨリ云ヘハ張弧ノ之ニ当ルコト順序ナルヘキモ龔心湛ハ張弧ニ比スレハ李思浩(李ハ安福系ニ接近セリ)ト好ク從來万事李ト相談シ来リタルニ付龔モ李ヲ推薦シ大總統モ其辺ノ事情ヲ考ヘ李次長ヲシテ部務代理タラシメタルモノナリトノ趣ニ有之候尤モ張弧自身ノ内話ニ依レハ財政次長ハ二名アリ李次長ハ専ラ部務ヲ処理シ自分(張)ハ専ラ塩務署々長トシテ塩務ヲ処理スルニ付今回ノ如ク次長ニテ部務代理ノ場合ハ慣例上部務処理ノ担任者タル李次

外務大臣子爵 内田康哉殿

徐大總統等ノ時局ニ関スル談話報告ノ件

国民党古島代議士ノ大總統、段祺瑞、靳總理ニ会见引合セノ為メ西田ヲシテ同伴セシメタル際ノ談話大要左ノ通ナリシ趣ナリ

大總統曰ク支那ハ南北ニ分立セル兩政府アルニアラス實際ニ於テ西南五省ハ已ニ中央政府ト互ニ人ヲ派シ相往来シ居リ殊ニ予ノ就任以來平和統一ノ方針ヲ以テ時局ヲ解決セント欲シ種々手段ヲ講スル所アリ上海會議ハ単ニ南北双方ノ意見ヲ形式的ニ纏メントスル一機關ニ過キス(トテ上海會議ヲ余リ重要視居ラサル口吻ヲ漏ラシ)尤モ現在南北紛争ノ為メ双方軍隊ヲ増加シタルモ甚シク軍費ノ不足ヲ来シ旁双方不要軍隊裁撤ノ必要アルニヨリ或ル程度ノ金額ハ是非トモ外国ヨリ資金ノ供給ヲ受クル必要アリ而カモ右借款ハ一日モ早く出来レハ軍隊ノ裁撤モ一日早く南北統一ヲ実現

シ得ル次第ナリ又日支兩國存立ノ根本義ハ兩國共存ニ存シ將來益親善ナルヲ要スルコト固ヨリ多言ヲ待タスシテ明ナリ現ニ兩國政府間ニハ目下ト雖モ何等意思ノ疎隔アルニ非サルモ所謂学生団ノ運動ナルモノハ外国人及一部支那政客

長カ部務代理タルカ当然ナリトノ事ナル趣ニ有之候

尚曹汝霖カ本使ニ大總統府顧問郭人漳カ深沢書記官ニ姚震張弧カ西田通訳官ニ對スル内話ヲ綜合スルニ南北和平會議ノ成否ニ論ナク靳雲鵬ノ總理代理タルハ差当リノ臨時内閣ニシテ矢張り段祺瑞ノ出馬シテ總理トナリ大總統ト一致協力シ強固ナル中央政府ヲ組織スルニアラサレハ時局ノ收拾ハ至難ナルニ付徐大總統ト段祺瑞ニ於テモ其辺ノ了解アリ徐段ノ關係近時頗ル密接ナルヲ以テ近キ将来ニ右事實ノ現出スヘキコトヲ期待シ居レル趣ニ有之候既電説明旁此段報告申進候也

本信写送付先 天津、上海、広東

一三七八 十月二十一日 在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛

徐大總統段祺瑞靳國務總理代理ノ内外問題ニ

對スル意向報告ノ件

機密第四三三三号 (十月二十七日接受)

大正八年十月二十一日

在支那

特命全權公使 小幡西吉(印)

ノ利用スル所ニ係リ学生自身ニ於テモ已ニ其行動ノ常軌ヲ逸スルモノナルコトヲ自覚スルニ至リ最近ハ略ホ鎮靜ニ帰シツツアルヲ以テ右ハ一時ノ現象ニ過キサルヲ認メ得ヘシ云々

次ニ段琪瑞曰ク巴里會議ニハ政府モ条約調印ヲ命シ自分モ直接ノ当局者ニハアラサルモ調印主張ヲ各省督軍其他ニ通電セル次第ハ御承知ノ通ナルモ何分支那全權委員中民党派ノモノ多ク且ツ国内ニ於テモ盛ニ反对若クハ威嚇ノ電報ヲ直接全權委員ニ電報セル為メ政府ノ命令徹底セス不幸調印拒絶ヲ見ルニ至リタルハ自分ニ於テ深く遺憾トスル所ナリ元來日支間ニ如此直接解決スヘキ問題ヲ國際聯盟ニ依リ米國ノ仲裁ヲ俟テ決定セント期スルカ如キハ甚タ好マシカラサル所ナルモ過去ノコトハ致方ナキヲ以テ暫ク時機ヲ待つノ外ナシト考ヘ居レリ上海會議ノ如キモ目下ノ処殆ント見込ナク自分(段)ハ之元ヨリ何等平和統一ニ反对スル者ニアラサルモ支那ノ歴史ニヨリ明カナルカ如ク実力ヲ以テスル勝負ノ決セサル妥協ハ成立スルモノニ非サルノミナラス仮リニ成立スルトモ直ニ復タ爭議ヲ惹起スヘク結果何レニシテモ一度ハ実力ヲ以テ雌雄ヲ決スルニ非サレハ真正ノ統

一ヲ期シ難シ現ニ南方ハ北方總代表ノ人物ニ反对シテ着々已ニ福建、江西、湖南方面ニ於テ戦備ヲ整ヘ進撃ヲ計画シツツアルノ情報アリ旁結局政府ニ於テモ姑息ナル口頭妥協ノ不可ナルヲ知ルニ至ラハ終リニ討伐ノ已ムヲ得サルヲ識ルニ至ルヘシ自分ハ政府ノ命アラハ進ンテ陣頭ニ立ツヲ辞セサル覚悟ナリ之ヲ要スルニ早晚勢ノ窮スル場合ニハ自分ハ南方ニ出馬シテ一撃ヲ加フルニアラサレハ時局ノ解決困難ナルノ時期アルヘシト信ス而シテ之カ軍費ハ各省ニ於テ相当支出ノ途ナキニアラス將又所謂学生団ノ運動ハ外国人及一部政客ノ利用スル所ニ係リ北京、南京、武漢、濟南ノ如キ地方ニ於テハ多少武力ヲ用ヒタルカ為メ已ニ鎮靜ニ帰セルモ天津ニ至テハ外國トノ条約ニヨリ支那軍隊ヲ入ルルコトヲ得サルニヨリ不得已警察力ノミニヨリテ治安ヲ維持セサルヲ得ス從テ今尚時々紛擾ヲ起シツツアルハ窃ニ遺憾ニ感シ居ル所ナリ但シ之モ一時ノ現象ニ過キスト觀察ス最後ニ斬總理代理トノ会見ニ於テ同人ハ曰ク巴里條約ハ支那國民ノ程度低キ為メ其ノ多数ハ米國ノ援助ヲ得テ國際聯盟ニヨリ支那ノ為メ有利ニ解決シ得ヘシト考ヘ徒ラニ空頼ミヲ事トセルモ政府ハ必スシモ爾カク考ヘ居ラス相当ナル

時機ニ日支間ニ直接解決シ得ヘキ見込立タハ直ニ之ヲ決行スルニ躊躇セサル考ナルモ今日ノ際ニ在リテハ如何ニ日支間ノ直接交渉ニ支那ニ有利ナル解決スルトモ國民ハ必ス何等ノ考ナク殊更ニ反对シ其結果却テ日支間ニ面白カラサル關係ヲ生スルニ付寧ロ一般國民ノ相当事態ヲ了解スルノ時機ヲ待チ兩國ニテ直接交渉解決スルノ外ナシト考フ次ニ上海會議ハ南北實際責任者ノ會議ニアラサル為メ成功ノ見込ナシ現ニ南方ハ北方總代表ノ人物ニ反对シ今以テ會議スラ開始セラレス今後仮ニ南方カ北方總代表ヲ承認シ議事ニ入ルコトアリトスルモ双方ノ主張ハ余程懸隔アリ其間種々ノ議論モ起ルヘク又仮リニ形式上ノ會議成立シ双方ノ間ニ調印ヲ了シタリトスルモ愈実行ノ曉ニ到ラハ必然種々ナル故障妨害ノ起リ実行ヲ敢テシ得サルハ今ヨリ想像シ難カラス從テ余ノ考ニテハ上海會議ハ一ノ機関トシテ差当リ其儘之ヲ存在セシメ一面双方實際ノ責任者即チ双方実力派間ニ相当ノ代表者ヲ交換スルカ若クハ電報ニテ商議シ以テ妥協ヲ計ルヲ捷徑トス現ニ其積ニテ着々交渉シツツアリ元來南方ハ表面上護法又ハ護國ヲ唱ヘ居ルモ實際ハ相當知識ヲ有スル人物カ地位ヲ得ス不平ヲ抱キ各自ノ利益即チ煎シ詰ム

レハ「パン」ノ問題ニ掃着スル次第ナリ而シテ之ハ必スシモ南方ノミニ限ラス北方モ亦同様ノ状態ナリ從ツテ自分(斬)ノ時局解決方針トシテハ此際過去ノ事情ハ一切之ヲ不問ニ附シ断然党派又ハ地方的感情ヲ去リ新ニ茲ニ一新國ヲ建造スルノ考ヲ以テ政治ヲ軌道ニ入レ南北双方ヨリ相当人材ヲ適所ニ採用シ以テ時局ノ收拾ヲ計ラントニ責任ヲ以テ努力シツツアリ此方針ハ大總統ハ勿論段琪瑞其他北方有力者間ニハ已ニ同意贊成スル所ナリ而シテ先以テ右新建國ニシテ樹立センカ外國ヨリ必要ナル借款ヲ為スモ有識者間ニハ何等ノ反对ナカルヘク又日支兩國政府間ニハ何等ノ隔意ナキニ至ルヘク学生団ノ運動ノ如キモ外國人及一部政客ノ利用スル所トナリ得サルハ勿論自然彼等カ教唆ヲ行フノ口実ナキニ至リ追テハ如此無謀ノ行動モ自滅スルニ至ルヘキモノト信ス尤モ之カ実行ニハ種々ナル困難アルヲ以テ日支共存ノ大局ニ鑒ミ自分ハ衷心日本ノ好意的援助ヲ希望スル次第ナリ云々

以上三人ノ談話ヲ玩索シ考察スルニ大總統及斬總理代理ノ意見ハ略ホ同様ニ掃着スル様認メラルルモ段琪瑞ノ意見ハ余程ノ相違アル点ハ注意ニ値スヘク斬總理代理ノ理想案ノ如

キハ此際果シテ容易ニ実行セラルヘキモノナリヤ全然疑問ニ属スル様認メラル

本信写送付先 上海、広東、南京、奉天、漢口

一三七九 十月二十五日

東在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

徐樹錚ノ庫倫訪問及正式内閣ノ組織ニ関スル

件

支極秘四四七

(十月二十八日外務省接受)

一、徐樹錚ハ昨夜当地発往復約一ヶ月ノ予定ニテ庫倫ニ向ヘリ其旅行ニ関シ彼ノ談スル所ニ依レハ冬期極寒トナラサル前ニ於テ同方面ニ配置アル我軍隊ヲ視察スル目的ニテ近ク正式内閣モ成立セントシ又王揖唐ノ上海ニアル間ハ南北問題ニ就テモ顧慮ヲ要セス政界ノ現状ハ稍小康ヲ得ツツアレハ彼ノ旅行ニ就テハ何等ノ不安ヲ感セスト又帰途或ハ庫倫ヨリ北行シ売買城ヲ經テ東支鉄道ニ依ルヤモ計ラレスト謂ヒ居レリ

二、正式内閣ニ就テハ初ヨリ同意スル所ニシテ安福派ノ一部ニ不同意ヲ唱フルモノアリシモ徐ハ之ヲ慰撫シ且下同

ルト共ニ之ヲ記録ニ存シ尚貴大臣並在支公使ニ通達方申出デタリ右ハ各国領事ニモ送リタルモノト思ハルソノ訳文別電ノ通りナリ

在支公使上海領事ヘ転電セリ

(別電)

十月二十八日在広東太田總領事發内田外務大臣宛電報第一八一号ノ別電

岑春煊等十五名連名ノ對外宣言書和訳文

第一八一号ノ別電

弊國ハ不幸ニシテ武人法ヲ毀チ参戰ニ藉リテ对内ノ軍ヲ練リ外債ヲ増シ内訌ノ用ニ資シ権ヲ失ヒ国ヲ辱シムルハ皆皆マザル処是我が四億民衆ノ痛心切齒スル所以ナリ中日軍事協定ノ如キ既ニ兩國参戰ノ義務ヲ実行スルヲ以テ名トシ今歐戰早ク終熄ヲ告ゲタリ之等協定ハ方ニ即時取消スベシ然ルニ弊國ノ武人等ハ参戰借款ヲ利用スル為故ラ之ヲ無期延期セシメ且其ノ名義ヲ變ヘ別ニ之ヲ類スル事項ノ協商ヲナサント欲シ其ノ禍心ヲ包藏スル底止スル所ナシ又膠濟鐵道中日合弁ノ約ノ如キ内々中国政府欣然同意スルノ語アリ然ルニ該協約ノ締結ハ北方武人政府ガ当時日本ヨリ貳千万元

派ノ全部承認ニ同意シアレハ不日議會ニ提出セラルルニ至レハ之ニ賛成シ其成立ヲ見ルニ至ラン

三、内閣組織ニ関シ某要人ノ談ニ依レハ明日閣員ト両議員トノ懇話会ヲ開キ意志ヲ疏通スル筈ニシテ其顔触ハ陸、海軍、農商及外交部ハ居据ハリトシ内務ニ吳炳湘、交通ニ朱深、司法ニ姚震、財政ニ李思浩、教育ニ張志潭ヲ充テ曾毓雋ハ秘書長タル予定ナリト

一三八〇 十月二十八日

在広東太田總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

岑春煊等十五名連名ノ對外宣言書和訳文電送

ノ件

別電

同日在広東太田總領事ヨリ内田外務大臣宛電報
第一八一号ノ別電
右宣言書和訳文

第一八一号

(十月二十九日接受)

十月廿五日附伍廷芳名義ノ書面ヲ以テ岑春煊、伍廷芳、唐繼堯、陸榮廷、林葆懌、孫文、莫榮新、譚浩明、劉顯世、熊克武、譚延闓、于右任、陳炯明、李靜誠、楊庶堪等十五名ノ名列ネタル對外宣言書及英訳書各一通ヲ送付シ来レ

引出ヲ利用シ遂ニ國權ヲ失墜シタルニ過ギズシテ我が全国國民ガ未ダ同意セザルヲ顧ミザルモノナリ又聞ク此ノ外一千九百十七年ヨリ一千九百十八年ニ亘ル兩年間北方政府ガ日本ニ借款セルモノ合計三億萬元ノ多キニ達シ殆ト全部ヲ国内戰爭ノ用ニ供シテ契約ノ多クハ之ヲ発表セズ果シテ國權ヲ損失スル何ノ程度ニ至ルカハ國民之ヲ知ルヲ得ズ弊國ノ武人ガ外力ニ借リ以テ私慾ヲ逞ウセルハ実ニ遺憾ニ堪ヘズ中華民國ノ約法ヲ案ズルニ凡ソ國庫ノ負担トナル契約ハ国会ニテ議決スベシト兩年来北方政府ガ日本人ト締結セル各種ノ借款契約ハ護法ノ規内ニアリ南北戰爭中正式國會ノ議決ヲ經ザルモノ当然無効ト認メ其ノ条約タルト契約タルト將又其ノ内容如何ヲ論ゼズ我國家ハ断ジテ其ノ支配ヲ受ケズ今後若シ之等ニ類スルノ協商アルモ又之ト同一ニ論ズ謹ンデ茲ニ宣言シ我善隣各友邦真誠親善ノ趣旨ニ基キ(脱) アランコトヲ請フ

一三八一 十月二十九日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

北方側ニ於テ正式内閣組織說盛ナル原因ニ関スル件

第一三九七号

(十月三十日接受)

往電第一三九五号ニ関シ

此ノ際北方側ニ於テ急ニ正式内閣説ノ盛ナルニ至リシハ全ク上海會議ノ前途見込ナキニ基因ルモノノ如ク先般王揖唐南下ノ頃上海會議ニシテ愈々纏マラザルニ於テハ再ヒ段内閣実現ノ外ナカルベキ旨頻ニ噂サレタル次第ノ処今回ノ靳内閣組織ハ即チ其ノ變態ト觀察シテ然ルベク將又政府閣員顔触ニ依リ之ヲ徵スルモ之全ク北方派ヲ網羅結束以テ対南策ヲ講ズルニアリ因ニ安福系ノ策士曾毓雋ハ國務院秘書長ニ又丁士源ハ交通次長ニ略内定シ国会方面ノ同意案ハ二十六日ノ両院議員招待会ニ於テ大体疏通ヲ得靳總理ニ対スル同意請求案ハ二十八日衆議院ニ提出セラレタリト云フ前記往電ト共ニ上海、広東、漢口、奉天へ転電セリ

一三八二 十一月五日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

正式總理任命案両院通過及閣員選考事情ニ関スル件

第一四一三号

(十一月六日接受)

十一月四日孫潤宇ガ西田ニ内話セル所ニ依レハ正式總理案

上海広東へ転電シ天津へ郵報セリ

一三八三 十一月五日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

靳雲鵬國務總理任命ニ関スル件

第一四一八号

(十一月六日接受)

十一月五日附大統領令ヲ以テ靳雲鵬國務總理ニ任セラレタリ
上海広東へ電報セリ

一三八四 十一月六日

在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

靳内閣ノ閣員内定ノ件

第一四二二号

(十一月八日接受)

往電第一四一三号ニ関シ
六日孫潤宇ノ内報ニ拠レハ靳總理ハ大統領其他ノ方面ト商議ノ上閣員左ノ通り内定セル趣ナリ

内務 田文烈

外交 陸徵祥

財政 周自齊

陸軍 靳總理兼任

海軍 薩鎮冰

司法 朱 深

農商 張志潭

教育 夏寿康

一四 中国内政關係雜件 一三八三 一三八四 一三八五

ハ既ニ両院ヲ通過シタルニ付今明日中ニ任命公表アルヘキモ閣員ハ安福派ノ提出ノ顔触(往電第一三九五号顔触ナリ)通りニハ取運ハサルヘク吳炳湘内務総長説ニハ種々ナル方面ニ反対アリ又張志潭教育総長説モ安福派ノ主張ノミニテ張自身ハ全然同意シ居ラス(大統領側ハ張子探ヲ内務総長ニセン考アリト云ヘリ)李思浩財政総長説ニ関シテハ大統領側ニ於テモ特ニ反対ナキモ張弧ハ之ニ對抗シ大ニ各方面ニ運動中ニシテ未タ何レトモ確定セス目下確ニ内定セルハ極秘ナルモ南北妥協ノ都合上海軍總長薩鎮冰(是ハ大統領側及安福派共ニ異議ナシ)ノミニシテ其ノ他ノ閣員ハ靳總理正式任命後ニ各方面ト十分商議ヲ遂ケタル上ナラテハ決定セサルヘク又安福派ノ主張タル國務院秘書長曾毓雋説ノ如キハ靳總理ト密接ノ關係ナキ同人ナレハ殆ト実現セサルヘシ尤国会操縦ノ必要上大總統側ニ於テモ安福派ノ条件全部ヲ排斥スルハ不可能ナルニ付相当ノ点ニテ折合ヒ決定ヲ見ルニ至ルヘシト述ヘタル趣ナリ尚十一月一日靳雲鵬ノ直話ニ依ルモ新聞紙所載ノ顔触ハ事実ニアラス之カ決定迄ハ幾多ノ曲折ヲ要スヘシト述ヘ暗ニ安福派ノ提出条件ヲ輕々シク承諾セサル口吻ヲ漏ラシタル趣ナリ

交通 曾毓雋

右閣員同意案ハ多分両三日中ニ国会ニ提出セラルル筈ニテ安福派幹部トモ一通リ話合ノ上ナルモ愈々トナリテノ同派ノ態度ハ未タ判明セストノコトナリ將又六日黃中慧ヨリ安福派幹部ヨリ確聞セル所ナリトテ西田ニ内報シ来レル閣員顔触モ現海軍總長居据リトスル外全部同様ナリ但シ黃ハ内務財政農商等ノ重要ナル地位ヲ同派ニ与ヘサル為政府側ヨリ同派議員ニ対シ十分意思疏通ヲ計ルニ非サレハ国会ノ通過多分困難ナルヤニ想像セラルルモ目下ノ状況ニテハ大体疏通ヲ計リ得ヘキ見込アリトセル由ナリ
右上海、広東、漢口、奉天へ電報シ天津へ郵送セリ

一三八五 十一月六日

東在中國日本公使館附陸軍武官ヨリ
上原參謀總長宛(電報)

周自齊ノ財政総長内定ハ米國ノ意向ニ依ル件

(十一月八日外務省接受)

支極秘第四六〇号

周自齊ヲ正式内閣ノ財政総長ニ割当テタルコトハ支普第一七八号報告ノ如クナルカ此経路ニ就キ確カナル筋ヨリ聞ク所ニ依レハ米國代理公使等カ靳雲鵬及其ノ幕僚ニ対シ将来

米國ヨリ借款スル希望アラハ此際周自齊ヲ財政総長トナスヲ必要トスル旨極力吹キ込ミタルニ依ルモノニシテ米國側ノ好マザル張弧総長説ノ取消サレタルモ亦之ニ原因スト

一三八六 十一月八日 在中国小幡公使ヨリ 在外務大臣宛 内田外務大臣宛

靳内閣軍隊裁減方針聲明並四省巡閱使十七省督軍省長等連名大總統宛通電ノ件

附屬書 十一月五日附右通電和訳文

公第四一九号

(十一月十四日接受)

大正八年十一月八日

在支那

特命全權公使 小幡西吉(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

前次國務總理代理龔心湛カ旧四國銀行ニ対シ二千四百万元ノ前貸ヲ申込ミタルハ軍隊ノ支給其他ノ政費ニ充當セントノコトナリシカ最近米國ニテ成立シタル二千五百万弗乃至三千万弗ノ借款ハ軍隊ノ裁減費ヲ唯一ノ用途ト為シアル趣ノ処兎ニ角支那軍隊ノ過多ニシテ之カ裁減ハ財政整理ノ第一歩ナリトハ動カシ難キ議論ナルモ其裁減ノ実行方法コソ

ヲ以テ通電主張セルニ割裁減軍隊説ハ殆ント是レ斬雲騰内閣ノ主張ニ呼応シタルモノニテ要スルニ今ヤ靳内閣ハ米國借款ヲ成立セシメ又成立セシメンカ為メ軍隊裁減ヲ高唱スルノ氣味アルモ一般識者ノ憂フル所ハ其依然トシテ有名無実ニ終リ此貴重ナル切膚ノ借款モ徒ラニ此等裁減ヲ主張連二分取セララルニ終ラズヤトノ点ニ歸着致候十七省督軍等ノ裁減通電別紙ノ通り訊出供査閱候条併セテ御参照相成度候也

(附屬書)

十一月五日附四省巡閱使十七省督軍省長等連名ノ大總統宛通電和訳文

十一月五日附曹錕、張作霖、倪嗣冲、李純、王占元、

陳光遠、盧永祥、鮑貴卿、孫烈臣、張樹元、閻錫山、

趙倜、張敬堯、李厚基、陳樹藩、張広建、楊增新、姜

桂題、田中玉、蔡成勳、齊耀琳、呂調元、何佩塔、齊

耀珊、戚揚、屈映光、劉鎮華、吳光新、曹錕聯名ノ通

電

比口国家多故中央ノ財政ハ奇絀スルハ軍費実ニ多額ニ居ルニ因ル各省ノ軍隊林立シ餉源充タス専ラ外債ノ一途ニ恃ム

至難ニシテ現ニ第一次改革大借款ノ軍隊裁減ノ一事ハ殆ント有名無実ニ終リタル実例モ有之カ近來軍人内閣タル靳雲鵬ノ國務總理代理乃至正式總理就任後主トシテ軍隊裁減ノ説ノ北方軍人側ニヨリ首倡セララルコソ正ニ一新現象トモ可申現ニ靳國務總理就任後ノ政治方針トシテハ第一財政ハ借款ヲ重務トシテ米國ノ三千万弗ノ外更ニ日本ノ二千四百万元借款ヲ成立セシメテ以テ日米ノ均衡ヲ保ツテ調済ニ資シ軍事ハ各省軍事會議ヲ召集シテ軍隊ニ割ノ裁減ヲ実行スルニ在リト聲明シ居レル趣ニテ既ニ總統府内ノ參陸弁公所ニ裁兵委員會ヲ組織シ靳氏自ラ委員長トナリ參謀部、陸軍部次長ヲ專任委員トシ其已ニ各省ヨリ派遣シ来リタル委員ハ

第一路委員 李鴻拳 第二路委員 王永寿

第三路委員 胡景光 江蘇委員 何恩溥

安徽委員 王郅隆 奉天委員 劉恩格

陝西委員 郭 涵 四川委員 吳 敵

熱河委員 張秉彝

等ニシテ其他ノ各省モ追々派遣セララルヘント伝ヘラルル此際四省巡閱使曹錕等十七省区ノ督軍省長等カ十一月五日附

已ニ破産ノ慮ヲ免レカタシ近ク且ツ時勢ノ迫ル所告貸ノ途窮ス此後將サニ何ヲ以テカ計ヲ為サン餉需ハ軍中命脈ノ関スル所稍々延誤アレハ在々虞ルニ堪ヘタリ矧ンヤ大局未タ寧カラス人心浮動シ奸徒ノ煽惑防カントシテ防キカタキノ時ニ當ツテヤ若シ軍心一ニ動揺アラハ危險ハ尤モ思議スヘカラス一省ニ變勢アレハ勢必ス全局ヲ牽動セン兵ハ猶ホ火ナリ戢メサレハ自ラ焚ク古訓昭然タリ能ク悚懼スルナキカ錕等ハ職疆寄ニ膺リ利害自ラ切ナリ救済ノ方ヲ籌ラサレハ奚ソ以テ維持ノ責ヲ負ハン側聞スレハ中央ノ財政本年度ノ予算不足ノ額ハ約四千万元前後ノ巨額ニ達スト此難関ニ當リ若シ各省徒ラニ難キヲ中央ニ責ムルモ特ニ事ニ濟ヒナキノミナラス抑モ且ツ義ニ於テ未タ安カラス展転思惟シテ良策ナキニ苦ミ權宜變勢ヲ濟ハント欲ス要ハ開源節流ノ二端ニ外ナラス若シ各省軍隊ニ割ヲ裁減スルモ地方ノ鎮撰ニハ不足ナカルヘク之ニヨリ節省セララルモノ歳ニ二千万元トナラン一面ニハ中央ヨリ各省ヲ責成シ財政庁ヲ督飭シ丁漕契稅ノ各項及ヒ一切ノ雜捐ハ切實ニ整頓セシメ涓滴公ニ歸シ假令ハ大省ハ歳ニ百余萬元中小省ハ毎年百万或ハ七八十萬元ヲ増ストセハ増入ノ款亦當サニ二千万元左右トナラン

各省ノ情況同シカラス未タ必ス能ク予期ノ数ノ如クナル能ハストスルモ地方ノ現状ニ就キ竭力設籌シ経征ノ官吏ニ対シテハ奨懲ノ規ヲ酌定シ官吏侵漁ノ弊ヲ嚴杜シ但タ地方カ能ク一分ノ補助ヲ多クセハ則チ中央ハ即チ一分ノ困難ヲ減スヘク用途ヲ確定シテ暫ク軍費ニ充テ一ニ和議ノ告成スルヲ待ツ裁兵ノ議ハ首トシテ我カ北方ヨリ実行シテ唱導ニ資セン或ハ曠日持久スルモ餉源亦挹注スル所アリ現状ハ頼ルヲ以テ維持スヘシ凡ソ此ノ計画ハ全局ニ關係シ若シ僅カニ一省ヨリ試行スルモ恐クハ効ヲ奏シカタク自ラ応サニ各省区ヨリ同心協議一致進行セン錕等往復商榷皆請フ共ニ時艱ヲ体セハ庶クハ危局ヲ力扶セント地方ハ中央ト休戚相關シ義漠視シカタクシ祇タ燃眉ノ急ヲ救ハント欲シ敢テ越俎代謀スルニ非ス方今時事艱難ニシテ理財ノ道経緯万端ナリ中央ハ庶政ノ総枢ナリ凡ソ開源節流興利除弊ノ諸大端ニ関シテハ自ラ必ス能ク全局ヲ通籌シテ次第ニ施行スヘク錕等奚ソ敢テ妄リニ末議ニ參セン茲ニ餉源ノ匱乏スルニ鑒ミ職責ノ関スル所管見ノ及フ所其裁減兵額、整頓稅收ノ兩端ニ就イテ公同籌議シ意見略ホ同シ謹ンテ連名大總統ニ陳請シテ鈞鑒採択ヲ酌予セラレ詳カニ核議ヲ加ヘ施行セラレンコト

問題ノ進行ヲ計ラントシタルニ対シ安福派ニ於テモ窃カニ之ニ對抗スル為彼等ヨリモ亦各省督軍ニ対シ閣員顔触ニ付安福派ノ主張ニ賛成ヲ求メタル由ナルモ今日迄ノ処ニテハ曹、李、張各督軍及安福派ノ支持者ト目セラルル倪嗣冲迄モ大体政府選定ノ顔触ニ賛成ノ返電ヲ寄セ斬總理ノ態度又頗ル強硬ナルニヨリ大勢較々安福派ニ不利ナルカ如キ狀況ナリ唯同派ハ国会ニ於テ多数ヲ制シ互ニ團結シテ強固ナル反對ヲ唱ヒ居ル為政府選定ノ顔触ノ儘ニテハ今日迄ノ狀況ニテハ国会通過ノ見込ナク目下政府ト国会側トノ間ニ頻リニ商議中ナリ從テ結局新聞員ノ顔触ハ如何ニ確定スヘキカ目下ノ処何トモ予知シ難キモ其後ノ成行不取敢報告ス

一三八八 十一月二十二日 在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

斬内閣新聞員ノ内定ニ関シ孫潤宇内報ノ件

第一四八五号 (十一月二十三日接受) 孫潤宇ノ内報スル所ニ依レハ内閣員ノ選定ハ十一月廿二日午後二時總統府ニ於テ決定セラレ廿二日夜議會ニ提出セラレ無論通過スヘク其顔触左ノ通り

ヲ当ルアルヤ否ハ伏シテ鈞裁ヲ乞フモノナリ

十一月五日 連名

一三八七 十一月十二日 在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

斬内閣員選定ニ安福俱樂部反対鞏固ナルニ依リ閣員決定遅延ノ件

第一四三六号 (十一月十二日接受)

往電第一四二一号ヲ以テ報告ノ斬内閣ニ列スヘキ閣員顔触ニテ當時直チニ内閣成立ノ形勢ナリシモ政權ノ分配ニ関シ一再ナラス曲折ヲ見終ニ十一月八日安福俱樂部議員ノ大会ニ於テハ財政周自齊、農商張志潭、教育夏寿康ノ入閣ニ対シテ一致反対シ又田文烈ノ農商ニ留任スルニハ賛成ナルモ内務ニ就任スルニハ反対スル旨ヲ決議シ就中周自齊ノ財政總長タルニ対シテハ十分結束ノ上絶対ニ反対スヘキ鞏固ナル氣勢ヲ示シタルニヨリ閣員問題ノ進行ニ鮮カラサル頓挫ヲ来タシ旁今以テ政府ヨリ同意案ヲ国会ニ提出スルニ至ラス政府側ニ於テモ余程苦心ノ模様ニテ終ニ斬總理ノ名ヲ以テ各省督軍ニ宛總理指名ノ閣員顔触ニ対スル意見ヲ徵シ各省督軍ノ賛成電報ノ声援ヲ以テ安福派反対ノ氣勢ヲ殺キ本

- 外交 陸徵祥 内務 田文烈
 - 農商 張志潭 財政 李思浩
 - 交通 曾毓雋 教育 夏寿康
 - 陸軍 總理兼任 海軍 薩鎮冰
 - 司法 朱 深
- 上海広東へ転電シ上海ヨリ南京ニ当館ヨリ奉天天津漢口へ郵送セリ

一三八九 十一月二十三日 在中国小幡公使ヨリ 内田外務大臣宛(電報)

軍隊ニ割削減ニ関スル大總統令公布ノ件

第一四八七号 (十一月二十四日接受)

往信第一四一九号ニ関シ 十七省督軍省長等ノ電請ニ基キ現在軍隊總數ノ二割ヲ減スル旨ノ十一月廿二日附大總統令公布セラル委細郵報

一三九〇 十一月二十六日 東在中國日本公使館附陸軍武官ヨリ 上原參謀總長宛(電報)

李新財政總長決定ノ經過ニ関スル件

(十一月二十八日外務省接受)

支極秘四九〇号

財政総長ニ決シタル周ヲ改メ李思浩ヲ入ルルニ至リタル消息トシテ政府某人ノ語ル所ニ依レハ過日段祺瑞ハ傅良佐ヲ大總統ノ許ニ派遣シ周ニ対スル反对多キヲ以テ再考セラレテハ如何トノ意見ヲ具申セシメタル処大總統ハ其真偽斷定シ難キニヨリ斬総理ノ意見ヲ確メラレ度旨ヲ要求セルヲ以テ傅良佐ハ転シテ之ヲ斬ニ告ケタルニ斬ハ総統ノ言ヲ以テ其儘之ヲ段ニ報告セハ其忌避ニ触ルルヲ恐レ段ニ報告スルニ徐總統モ亦之ト同意見ナル旨ヲ以テセシメタリ茲ニ於テ段ハ大ニ喜ヒ直ニ王祝三及曾毓雋ヲ招キ之ヲ安福派ニ伝ヘシメタリ

翌日李參議院議長及劉參議院副議長ハ斬総理ヲ訪ヒ念ノ為之ヲ確カメタル処斬総理ハ告クルニ実ヲ以テシ且自分ハ何処迄モ周自齊総長タルノ意志ニ変化ナキヲ答ヘタリ
段祺瑞是ヲ聞キテ斬総理及傅良佐ノ不信ノ行為ニ対シ大ニ忿怒セリト遇々吳光新ハ斬総理ノ招電ニ接シ此時帰京セシニヨリ斬総理ハ周自齊総長ニツキテ困難ナル事情ニ立到リシ經過ヲ述ヘ財政ハ暫ク自分(斬総理)ニ於テ兼任スヘキニヨリ吳光新ニ陸軍総長タランコトヲ交渉セルニ吳ハ一日

上海広東漢口各総領事奉天へ転電セリ

一三九二 十二月九日 在広東太田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

旧国会ノ職權自由行使ヲ段祺瑞ニ於テ断行シ
和平ヲ達成スル様日本公使ヨリ段ニ勸告方唐
宝鏢申出ノ件

第二〇〇号 (十二月十日接受)

本官發在支公使宛電報第一七三号

十二月八日唐宝鏢本官ヲ来訪シ同人一個人ノ希望トシテ左ノ通り語レリ

南北問題ニ関シ孫文ハ北京政府ニシテ旧国会ノ職權自由行使ヲ認ムルニ於テハ西南護法ノ目的ハ全ク達セラルベキヲ以テ其他ノ法律及事實問題ハ無条件ニテ妥協スベシトノ意向ヲ有シ既ニ段祺瑞トハ相当ノ了解ヲ有シ目下双方人ヲ介シ其實行方法ノ協議中ナリ右孫文ノ意見ハ唐紹儀モ之ヲ尊重シ国会ハ勿論西南各省ニ於テモ之ニ反对スル理由ナキヲ以テ北京政府ガ非常ノ決心ヲ以テ単ニ此ノ一事ヲ断行セバ他ノ實際問題ノ情実ニ拘束セラルルコトナク却テ南北ノ統一ヲ速成スルコトヲ得ベシ唯懸念ニ堪ヘザルハ段ガ其周囲

熟考シタル後陸軍総長タルコトヲ断リ且斬総理カ財政ヲ兼ヌルハ上下(?)ノ目標トナリ彼ノ将来ノ為メ有利ナラサル理由ヲ述ヘ斬総理モ亦八方塞カリノ結果事情已ムヲ得ス遂ニ周自齊ヲ止メ李思浩ヲ以テ之ニ代フルコトニ決心セリト云フ

右ノ結果総統府側ニテハ財政総長ノ椅子ヲ徐恩元ニ与ヘントシ安福側ニテハ曾宗鑑ヲ擬セントシ互ニ運動中ナリ
安福派ノ意見ハ前回報告セシ如ク李思浩ハ幹部会ニ於テ承認ト決シ張志譚及夏寿康ハ議員ノ自由意思ニ任スコトニ決シタリト云フ

一三九一 十二月三日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

内閣各部総長任命大總統令發布ノ件

第一五三三号 (十二月四日接受)

十二月三日附大總統令ヲ以テ前電顔触ノ通各部総長ノ任命發布田文烈ハ農商総長兼任ヲ命セラレ又次長ニハ何煜内務ニ(脱)財政ニ傅嶽葵(同時ニ総長代理)教育ニ姚国楨交通ニ各任命アリ又同日附ヲ以テ周自齊幣制主裁ニ特任セラレタリ

ニ誤ラレ其決心ヲ鈍ルヲ以テ此際貴国公使ガ非公式ニテモ可ナレバ段ヲシテ其決心ヲナサシムル様勸告尽力セラルレバ非常ノ効果ヲ挙ゲ得ルト思ハルルニ付是非貴公使ノ尽力ヲ願ヒ度シ万一右ニ依リ平和回復ノ端緒ヲ得ルニ於テハ目下不幸ニシテ現存セル対日悪感モ自然消滅ニ歸スベシ云々右参考ノ為

大臣へ転電セリ

附 滿洲地方動靜

一三九三 二月六日 在吉林森田領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

吉林奉天出身參議院議員ガ国会ニ提出セル孟

督軍查弁案ニ関シ同督軍外交顧問来話ノ件

第九号 (二月七日接受)

在支公使へ左ノ通 極秘

第三号

吉林及奉天出身ノ參議院議員ガ孟督軍ノ稅政ニ対シ查弁案ヲ国会ニ提出セル事ニ関シ六日督軍署陳外交顧問来話ノ趣